

やんばる国立公園のエコリージョンマップ

荒尾章子・増澤直・今野尚美・齋藤剛（株式会社 地域環境計画）

Ecoregion Map of Yambaru National Park, Okinawa, Japan

Shoko Arai, Tadashi Masuzawa, Naomi Konno, Tsuyoshi Saito (Regional Environmental Planning, Inc.)

エコリージョンマップとは、生態系を構成する自然環境要素（地質、地形、気候、土壌、植生等）の特徴や成り立ちに基づき、さらに、地域性や土地利用、景観を考慮した区分によって、地域の生態系のまとまりやつながり具合等を地図に見え化したものです。

今回エコリージョンマップを作成した沖縄島北部に位置するやんばる国立公園は、日本最大級の亜熱帯照葉樹林やサンゴ礁が分布する海域を持ち、固有種や希少種、多様な動植物が生息する生物多様性に富んだ地域ですが、まとまった亜熱帯照葉樹林はプロコリコの森とも呼ばれ、メリハリもなくほとんど人が手が入った二次林で、特徴や価値がわかりにくくなっています。そこで、私たちは、特徴や価値を明らかにして、見える化しようと、エコリージョンマップを試作することで、この国立公園を景観生態学的な観点からの特性把握を試みました。

Terrain classification map
地形区分図



Geological map
地質図



Soil map
土壌図



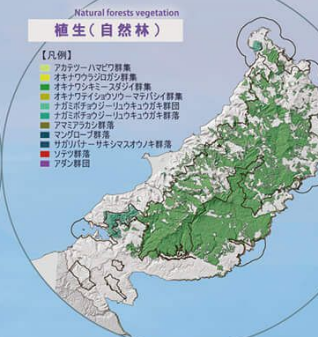
National park Area
国立公園範囲



Vegetation map
現存植生図



Natural forests vegetation
植生（自然林）



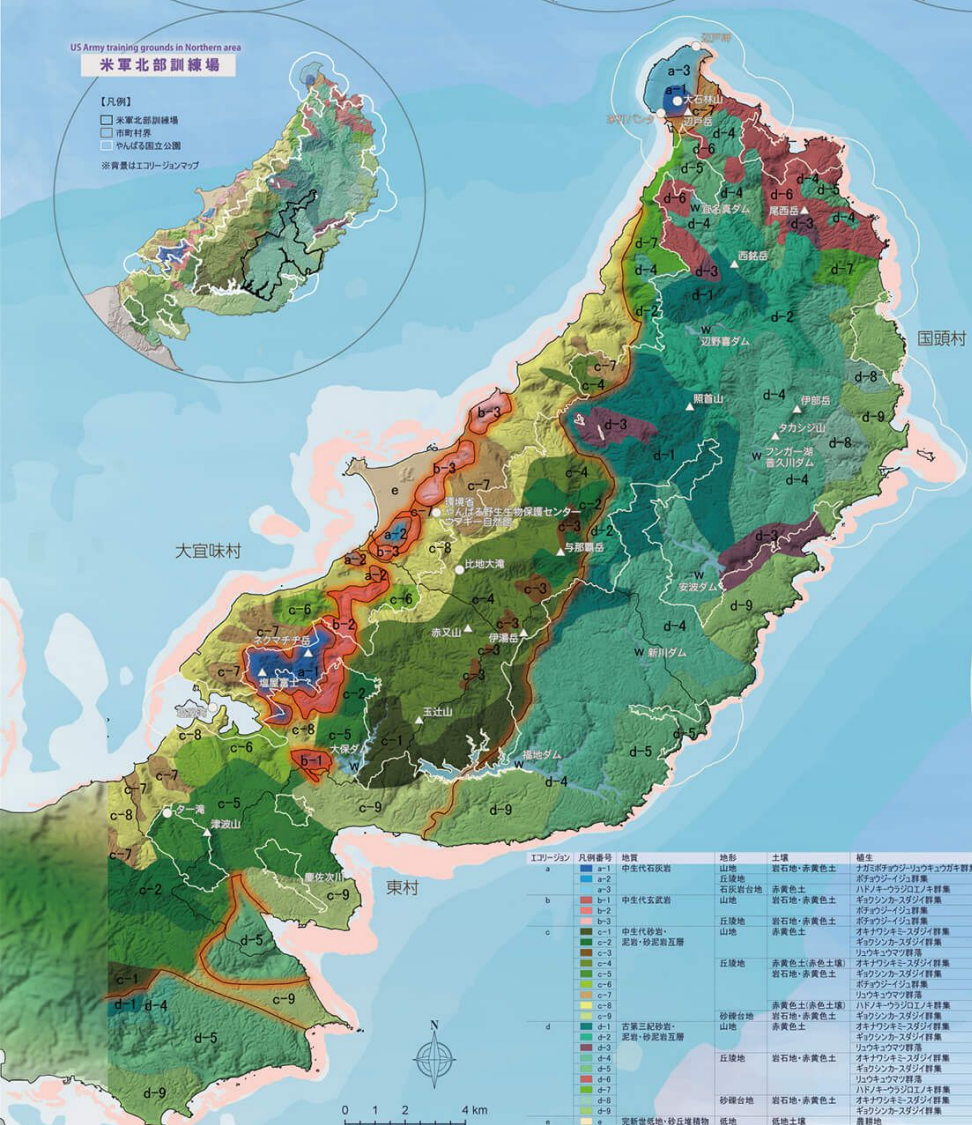
Secondary forests vegetation
植生（二次林）



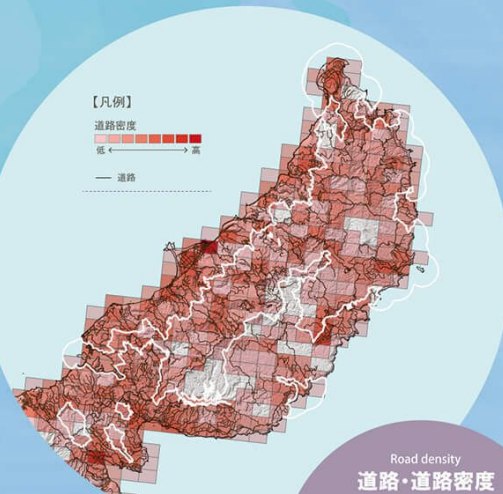
US Army training grounds in Northern area
米軍北部訓練場



Artificially transformed lands
人工改変地（植生）



【凡例】
道路密度
低 → 高
— 道路



Road density
道路・道路密度

沖縄島北部地域にも、至る所に道路が通っており、当然そのような場所には集落もあります。そして、重要な生態系がある場所では、動植物と人との軋轢が生じている可能性もあります。

エコリージョン	凡例番号	地質	地形	土壌	植生
a	a-1	中生代石灰岩	山地	石灰地・赤黄色土	ナガミササギ・クマノミナミササギ群集
	a-2	中生代石灰岩	丘陵地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
	a-3	中生代石灰岩	石灰岩台地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
b	b-1	中生代玄武岩	山地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
	b-2	中生代玄武岩	丘陵地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
c	c-1	中生代砂岩	山地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
	c-2	中生代砂岩	丘陵地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
	c-3	中生代砂岩	丘陵地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
	c-4	中生代砂岩	丘陵地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
	c-5	中生代砂岩	丘陵地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
	c-6	中生代砂岩	丘陵地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
	c-7	中生代砂岩	丘陵地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
	c-8	中生代砂岩	丘陵地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
	c-9	中生代砂岩	丘陵地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
d	d-1	古第三紀砂岩	砂礫台地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
	d-2	古第三紀砂岩	砂礫台地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
	d-3	古第三紀砂岩	砂礫台地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
	d-4	古第三紀砂岩	砂礫台地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
	d-5	古第三紀砂岩	砂礫台地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
	d-6	古第三紀砂岩	砂礫台地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
	d-7	古第三紀砂岩	砂礫台地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
	d-8	古第三紀砂岩	砂礫台地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
	d-9	古第三紀砂岩	砂礫台地	赤黄色土	ササギ・クマノミナミササギ群集
e	e	更新世低地・砂丘堆積物	低地	低地土	ササギ・クマノミナミササギ群集